

2016 年 3 月 26 日

ほしぞらサロン 2 月議事録

文責：山本親弘

日 時：2016 年 2 月 27 日（土）

18:00～22:00

場 所：プラネタリウム事務所

参加者：砂田、山田（明）

（50 音順、敬称略）

職 員：小野田、平野、角田、山本

（計 6 名）

1. 来年度の活動予定について

前回行ったサロン（新年会）の時におおよその来年度の予定を決定していききました。
今回のサロンでは、それを踏まえて来年度の活動予定について話し合いを行いました。

● 2016 年ほしぞらウォッチング実施日

- ① 3 月 12 日（土）「冬の星空」
- ② 5 月 7 日（土）「24 時間耐久駅伝」¹
- ③ 6 月 18 日（土）「太陽観察」
- ④ 8 月 27 日（土）「土星・火星」
- ⑤ 9 月 17 日（土）「お月見」

¹ 「24 時間耐久駅伝」とは、ユリックスのアクアドーム主催の事業で、参加チームのメンバーが 24 時間マラソンリレーをしており、毎年この日に合わせてプラネタリウムも観望会を行っています。

● ミニ合宿について

新しくほしぞらスタッフに入られた方に望遠鏡に慣れ親しんでもらうというねらいから、毎年4月に宗像ユリックスでミニ合宿（宿泊なし）を行っています。今回のサロンでは、ミニ合宿を実施するかどうかも含めて話し合いを行いました。

今年のミニ合宿の予定日として4月30日（土）を候補日に挙げていましたが、前回の新年会及びサロンの話し合いでは、

「ゴールデンウィークなのでスタッフが集まりにくいのではないか」という意見が出ていました。

それを踏まえて今回のサロンでは、

- 「もし実施するならゴールデンウィークを避けた4月23日（土）が良い。」
- 「そもそも今年はミニ合宿をする必要があるか？」
- 「通常はなかなか冬場に望遠鏡を出すことができないため、ミニ合宿を行うことで望遠鏡のチェックも兼ねて行っていたが、今年は3月に観望会を行う。（なので行う必要があまりない。）どうせするなら、昼に掃除を含めたメンテナンスをしたい。」
- 「新しくスタッフに入られた砂田さんも、去年様々なところで手伝っていたのでミニ合宿の該当者はいない。」

という意見から、今年のミニ合宿は行わないことになりました。

次に、昼間のメンテナンスはいつ行うかという議題になり、

- 「4月23日（土）にサロンを行い、その日の昼にメンテナンスをしてはどうか、または4月16日（土）が第一回ほしぞら友の会なので、その日に合わせてメンテナンスを行うとスタッフは集まりやすいのではないか。」
- 「メンテナンスは時間がかかり大変なのでサロンとは分けた方が良い。」
- 「昼から夕方にかけてメンテナンスを行いたいので、友の会（友の会は午前中に行います）の日と合わせるとメンテナンスまで時間が空いてしまう。」

などの意見が出ました。

これらから、4月9日（土）に望遠鏡のメンテナンスを実施することになりました。場所はアクアドーム前です。

- ライブ班のお茶会（反省会）について

ライブ班の反省会を行うかどうかも議題に挙がりました。

去年はあまりライブ班としての活動はできなかったので反省会を行わないという方向になっています。

- 合宿の場所について

来年の合宿について話し合いを行いました。

日程は10月1日（土）、2日（日）を予定しています。候補日として9月24日（土）、25日（日）や10月29日（土）、30日（日）も挙がっていましたが、10月1日、2日は新月であり土星を見ることが出来るのでその日に合宿を行うことになりました。

また、合宿場所については例年と同じように清和高原で行うかどうか、場所を変えるなら何処が良いかということも具体的に挙げていってもらいました。「南阿蘇ルナ天文台」や八女市にある星野村「星の文化館」が挙がりましたが、毎年利用している清和高原と比べると夜遅くまでできない（話し声が近所迷惑になってしまう可能性がある）という意見もあり、今後のサロンなどで検討していきます。

- クリスマスの活動について

来年度のクリスマスの活動及び番組についても今後の検討事項です。2014年と2015年は過去に作られた作品²を投影しましたが、今年もまた別の過去の番組をリニューアルして投影を行うのか、新しく作品を作るのか、今後話し合いをしていきます。

2. 3月9日（水）のほしぞらウォッチング「部分日食」について

3月9日に、日本では部分日食を見ることができます。

福岡では、食の始めは9：56、最大が10：45、食の終わりが11：37です。

今回のサロンでは、それに合わせて行われる、ほしぞらウォッチング「部分日食」について話し合いを行いました。

- 当日の予定

9：30～9：50 プラネタリウムでの解説

10：00～11：30 太陽観察（ユリックス本館正面玄関前）

² 2014年は「～プロキオンぼうやとながればし～」、2015年は「～プロキオンぼうやとまほうつかい～」をそれぞれ投影しました。

食の始まりが 9 : 56 なので、それに間に合うように最低でも 9 : 50 には解説終了予定となっています。

雨天時はプラネタリウムで他館の映像の中継を行います。

日食時間が長いため、日食観望の間に、見つけることができれば金星の観望も合わせて行ってみたらどうかという意見も出ています。

- 使用機材

- ・タカハシ（太陽投影板セット）1 台
- ・ビクセン（太陽投影板セット）1 台
- ・コロナド（ビクセンの赤道儀使用）1 台
- ・ソーラースコープ 1 台

3. 3 月 12 日（土）のほしぞらウォッチング「冬の星空」について

3 月 12 日に行われるほしぞらウォッチング「冬の星空」（スタンプ対象、2016 年 1 回目のほしぞらウォッチング）についての話し合いを行いました。

- 当日の予定

19 : 30～20 : 00 プラネタリウムでの解説

20 : 00～21 : 30 観望会（場所はアクアドーム前広場）

解説は職員の小野田さんが担当します。

2016 年 1 回目のスタンプ対象ほしぞらウォッチングのため、当日の来場者数は多く見込まれます。去年のサロンでも何回か議題に取り上げられていましたが、今回、来場者が多い場合はプラネタリウムでの解説は 2 回までで、それ以上になる場合は直接外（アクアドーム前）に案内することになっています。

また、同様に来場者数に対する参加スタッフ数の減少に関する議題で、スタッフの負担を減らすためにスタンプカードを無くす、または簡素化してはどうかという意見も去年のサロンでは出ていました。まだ決定ではありませんが、現段階ではスタンプカードは実施し、認定証については従来のように個人名は記入せずラミネート加工もしないということになっています。

- 対象天体

話し合いで挙げたものを以下に箇条書きで記述します。

- M42 オリオン大星雲

- M44 プレセペ星団
- M45 プレアデス星団（すばる）
- 木星（※3月9日が衝を迎える）
- 月（月没 22：03、地球衝）
- 北斗七星（ミザール・アルコル）
- カペラ
- シリウス
- アルデバラン

※ISS という意見もありましたが、調べたところ見えないということなので、候補から外れました。

- 使用機材

使用する望遠鏡及び双眼鏡は全部で4台を予定しています。参加スタッフの人数次第では、28cm セレストロンや 8cm ビクセンを出すことになっています。

- タカハシ（新・旧）2台
- 対空望遠鏡 2台

※スタッフ数に余裕があれば、以下の望遠鏡も使用します。

- セレストロン（28cm 反射望遠鏡）1台
- ビクセン（8cm 屈折望遠鏡 1台）

4. 今後の活動予定について

- 3月9日（水）観察会「部分日食」
- 3月12日（土）ほしぞらウォッチング「冬の星空」
- 3月19日（土）ほしぞら友の会第12回「星の一生」9:00～11:00
- 3月21日（月・祝）出張観望会（場所：岡垣サンリーアイ）17:30～21:00
- 3月26日（土）ほしぞらサロン

次回の「ほしぞらサロン」は、3月26日（土）です。